



杜都道院お楽しみ会開催について

今月17日(水)、午後6時から古城コミセン調理室を会場に「新入門拳士の歓迎」と

多賀城「あやめまつり」に参加します。今月14日(日)11時から11時半まで、多賀城市浮島の「あやめ園」で、「塩竈市民まつり」と同じ様に多賀城城南道院と演武披露を行います。所属拳士全員で参加したいと思えます。ご協力をお願い致します。

多賀城「あやめまつり」に参加します



2026.05.24 開祖忌法要で

入院しておりました「大城拳士の快気祝い」を兼ねて「お楽しみ会」を開催します。賛同される拳士は、塩竈道院所属であっても構いません。道院長へお申し出下さい。

大澤隆管長 縁起

自己確立と智慧のまなこ

6月に入り、紫陽花が色鮮やかに咲く季節となりました。梅雨入りを迎え、蒸し暑さを感じる日も増えてまいりましたが、皆様におかれては元気に過ごさうと存じます。

さて、先月、本山では開祖忌法要が行われ、多くの門信徒の皆様と共に開祖の遺徳を偲びました。今月は、その時の導師法話の内容を要約してお伝えいたします。

開祖は、「人、人、人、すべては人の質にある」と説かれました。社会を良くするのも悪くするのも、すべては人間の質にかかっているという教えです。そして、その「質の高い人」を育てるために、少林寺拳法という行を遺してくださいました。

少林寺拳法の根本思想に「自己確立」があります。自己確立とは、他人に依存するのではなく、自らを抛り所として生きる強さを養うことです。私たちは周囲の言葉や環境に影響を受けながら生きていますが、その中でも自分を見失わず、困難に直面し

2026.05.17 道院長講習会(金剛禅総本山少林寺本堂)



ても揺らがない自己を築いていかなければなりません。

しかし、ただ強くなるだけでは独りよがりになってしまいます。そこで必要となるのが、「智慧のまなこ」です。私たちは「縁起」の教

今後の予定

- ◎ 6月 7日(日) 宮城武専(青葉体育館)
- ◎ 6月17日(日) おたのしみ会(古城コミュニティセンター)
- ◎ 6月28日(日) 特別稽古・入門式(塩竈道院専有道場)
- ◎ 7月19日(日) 宮城武専(青葉体育館)
- ◎ 7月26日(日) 特別稽古(塩竈道院専有道場)

えを学んでいるように、多くの人や環境とのつながりの中で生かされています。そのことを理解する時、自分だけでなく他者も大切にしようという慈悲の心が育まれていきます。

少林寺拳法では、この「自己確立の強さ」と「智慧のまなこによる優しさ」を、「拳禅一如」「力愛不二」という言葉で表しています。開祖の志を受け継ぎ、自分自身を高めます。



2026.05.17

道院長講習会終了後に

ながら、周囲の人々と共に幸せを築いていけるよう、今月も日々の修練に励んでまいります。

梅雨時期は身心ともに疲れが出やすい季節です。どうかご自愛いただき、元気に修練に励まれますことを祈念いたします。

中国古典 紹介

泣いて馬謖を斬る

『菜根譚』

このことは知らない人は知らないだろう。もし知らない人がいたら、「おまえ、そんなことも知らないのか」とバカにされても致し方ないかもしれない。

『三国志』でおなじみの諸葛孔明が第一回目の遠征を行ったとき、先発軍の司令官に、かねてから目をかけていた馬謖という若手の参謀将校を起用した。ところが馬謖は、街停で敵の大軍に遭遇したとき、孔明の指示に従わないで、あえなく大敗を喫する。ために遠征は失敗に終わった。

孔明は馬謖の責任を問い、あえて愛する部下を斬罪に処し、「軍法を守らずして、どうして敵を破ることができようぞ」と言う

て泣いたという。将たる者のきびしい姿勢を示すエピソードである。

しかし、孔明はあえて馬謖を斬りながら、後ろに残された遺族にたいしては今までもおりの待遇を保障するという人情深い一面ももっていた。



2026.04 塩竈道院での稽古で